

「使徒信経」 *The Apostles' Creed*

古代から伝わるキリスト者の信仰告白で、父と子と聖霊それぞれについて自分たちが何を信じているかが表されています。著作は十二使徒であるとされてきましたが、どこまで本当かは分かりません。「使徒たちの信条」と名付けられたのは4世紀後半ですが、その短いバージョンが2世紀半ばからローマで使われていたと言われています。「ニケヤ信経」が共同体の信仰を告白するものであるのに対し、使徒信経は洗礼を受ける際に求道者が唱えるものとして、キリスト者個人の告白とされています。朝夕の礼拝、また聖婚式、病床の祈り、葬送式等でも用いられます。